

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

大腿骨転子部骨折における術中放射線照射時間と関連因子の検討

[研究責任者]

国立病院機構長崎医療センター 整形外科 部長 宮本 俊之

[研究の背景]

大腿骨近位部骨折は高齢者に多くみられる骨折で、今後の高齢化に伴ってさらに増加すると考えられています。大腿骨転子部骨折の手術では、骨折部の整復やインプラントの位置確認のために、術中に X 線透視を使用することが一般的です。

一方で、X 線透視は患者さんだけでなく、術者や手術室スタッフの放射線被曝にも関係するため、できるだけ必要最小限にすることが重要です。術中の放射線照射時間は、骨折の状態、手術方法、使用する器具、術者など様々な要因の影響を受けると考えられていますが、当院のように手技を統一している施設で、どのような因子が照射時間に影響するかについては十分に検討されていません。

[研究の目的]

この研究の目的は、当院で行われた大腿骨転子部骨折手術における術中放射線照射時間の実態を明らかにするとともに、照射時間に影響する因子を調べ、今後の被曝低減に役立てることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2022 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に、長崎医療センターで大腿骨転子部骨折に対する手術を受けた方

●研究期間

倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

●利用するカルテ情報

この研究では、診療録、手術記録、放射線機器の記録から以下の情報を利用します。

- 年齢、性別
- 受傷日、診断名
- 骨折関連情報
- 手術日

- 術式
- 使用したインプラント（short nail / long nail）
- 主執刀医
- 手術開始時間帯（時間内、時間外、休日）
- 手術時間
- 術中放射線照射時間（透視時間）

●情報の管理

情報は長崎医療センター内で収集し、研究責任者が責任をもって適切に管理します。
この研究は長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

整形外科 部長 宮本 俊之

住 所：長崎県大村市久原 2 丁目 1001-1

電話番号：0957-52-3121（代表）